



2022年10月27日

各 位

会社名 空 港 施 設 株 式 会 社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 乗田 俊明  
 (コード番号 8864 東証プライム市場)  
 問合せ先 執行役員 経理部長 濱 隆裕  
 (Tel 03-3747-0251)

## 第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年6月9日に公表しました2023年3月期第2四半期の連結及び個別の業績予想と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

### 1. 第2四半期の連結及び個別の業績予想と実績値との差異について

①2023年3月期 第2四半期 連結業績予想と実績値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	12,298	1,317	1,174	934	18円70銭
今回発表実績 (B)	12,715	1,807	1,699	1,297	25円95銭
増減額 (B-A)	417	490	525	363	
増減率 (%)	3.3	37.2	44.7	38.9	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期 第2四半期)	11,922	2,073	1,968	1,308	26円20銭

②2023年3月期 第2四半期 個別業績予想と実績値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	10,546	874	811	16円23銭
今回発表実績 (B)	11,008	1,468	1,197	23円95銭
増減額 (B-A)	462	594	386	
増減率 (%)	4.3	68.0	47.6	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期 第2四半期)	—	—	—	—

### ③差異の理由

個別業績につきましては、不動産賃貸事業において空室部分の臨時使用収入があった他、給排水事業において、夏場のコロナ感染症拡大下でも政府による行動制限が発出されず、空港利用者の増加に伴う給排水使用量の回復傾向が続いたこと等もあり、売上高が増加しました。また、一部の修繕・リフォーム工事が工程調整や部材納期遅延の影響等により下期以降へ持ち越しとなった他、不動産取得税の確定精算に伴う戻入益の発生や受取配当金の増加等もあり、経常利益・四半期純利益が前回予想を上回ることとなりました。

連結業績では、熱供給事業において電気・ガス料金単価の上昇に伴う原材料費の増加が著しく、利益を押し下げる要因となりましたが、上記個別業績での上振れもあり、結果として営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を上回ることとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、電気・ガス料金単価の動向が引き続き不透明であり、他の要素も併せて現在精査中です。従いまして、現時点で通期の業績予想は 2022 年 6 月 9 日に公表いたしました予想を変更しておりません。

今後、見直す必要が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

(注) 本資料に記載されている業績等の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値とは異なる場合があることにご留意下さい。

以 上